

神津島 天上山山行報告

【山城】 伊豆七島 神津島

【ルート】 黒島登山口→天上山→黒島登山口→多幸湾キャンプ場

【メンバー】 CL 齋藤一郎、寺崎 菅井(記録)

【登山方法】 ハイキング

【行動日】 5月22日 (前夜発)

【行程】

5/21 19:30 貝塚 IC→20:40 竹芝栈橋 22:00→

5/22 10:30 神津島前浜港 10:30→11:05 キャンプ場 11:10→黒島登山口 11:15

→11:50 オロシヤの石罫→12:20 表砂漠→12:50 山頂→天空の丘→不動池

→14:10 裏砂漠展望地→裏砂漠→ 15:40 黒島登山口→16:30 多幸湾キャンプ場

5/23 キャンプ場 9:00→9:20 前浜港 10:30→18:40 竹芝栈橋→20:40 千葉

【内容】

5/21 20:40 車をタイム駐車場に入れ竹芝へ、つりの大会があるらしく混雑。行動食を用意し、東海汽船に乗り込む。デッキからの東京湾の夜景を楽しんだ後、特2等2段ベットの部屋へ。大きな船でほとんど揺れず快適。

5/22 大島湊に着くアナウンスで起床。デッキから穏やかな海と島を眺め、大島、利島、新島、式根島に寄港し、神津島前浜港に到着。しかしキャンプは島の反対側多幸浜にある。幸い別のグループが予約していたタクシーを見つけ、次の予約をとり、キャンプ地経由で荷物をデポし、黒島登山口まで行くことができた。ほぼ30m登ると1合目の標識。30mごとに標識がある。振り返ると前浜の集落や海の景観がすばらしい。50分程で山頂の広い高原状地に着く。右側に「オロシヤの石罫」跡との案内板がある。江戸時代、来航・上陸してきた外国人を山に引き寄せ、用意した石を落とそうとしたのだそうだ。全く馬鹿などいわざるを得ない。



ほぼ平坦な道を30分程行くとベンチのある表砂漠につく。白い砂の荒涼とした景色はとて500m程の山とは思えない。まるでアルプスの3000mの砂礫地を思わせる。正面に572mの天上山最高点が見える。最高点

からの眺めを堪能し、天空の丘へ。北側には式根島 新島、利島、大島が見える。冬のよく晴れた日には富士山もくっきり見えるそうだ。足下には白い砂礫のなかにオオシマツツジの群落が見事だ



不動池は干上がりこけに覆われていた。裏砂漠展望地の断崖から下、岩礁と波が造る鮮明な風景が印象的だ。裏砂漠、広大な白い砂と山が広がる中のツツジの群落が印象的



裏砂漠から元の登山道に戻り下山。登山口から舗装道を40分ほど歩きキャンプ場につく。管理棟前の芝の広場にテントを張る。テント泊一人400円、なんとこれで風呂にも入れてもらえた。清潔な炊事場でSさんの献立で夕食。快適に寝たはずだが、蚊が多い。

5/23 朝起きたらなんとテントのベンチレーションからはいったのか10匹以上の血を吸った蚊がいた。

この日も快晴。食事前に付近の散策。常設テント場の横からの散策路を少し行くとシダの大群落がある。さすが南の島だと実感する。多幸湾海岸から天上山の崩壊崖には圧倒される。船からの眺めはさぞ圧巻だろうと思われるが、今回は残念ながら見ることはできない。



崖のすぐ横に神津島の水源であろう多幸湧水が豊かにわき出ている。まろやかなうまい水だった。多幸浜には民家は無かった。平時、船は前浜港に着く。

キャンプ場へ戻り、ここの送迎車で前浜まで送ってもらい帰りの船に乗る。

変化に富んだおもしろい島だった。キャンプ代一人あたり400円で、風呂や送迎車まで付いているなんて考えられない。多幸湾キャンプ場はおすすめだが、神津島へ行く時にはキャンプ場への車の手配をとっておくと良いと思う。

(菅井 記)